

平成30年（行ウ）第184号 環境影響評価書確定通知取消等請求事件

原告 ■■■ 11名

被告 国（処分行政庁 経済産業大臣）

証拠説明書（6）

令和2年2月10日

大阪地方裁判所 第2民事部合議1係 御中

原告ら訴訟代理人弁護士 池田 直樹

同 浅岡 美恵

同 和田 重太

同 吉江 仁子

同 金崎 正行

同 杉田 峻介

原告ら訴訟復代理人弁護士 喜多 啓公

同 與語 信也

頭書事件につき、下記のとおり証拠の説明をする。

記

号証	証拠の標目 作成日 作成者 (いずれも写し)	立 証 趣 旨
甲 A 3 0	発電所設置の際の環境アセスメント迅速化等に関する連絡会議中間報告 平成 24 年 11 月 25 日 環境省・経済産業省	環境省と経済産業省で火力発電所リプレース等における環境アセスメントの簡素化・迅速化等の検討のための連絡会の中間報告。火力発電所リプレースについてだけでなく、新增設についても、①新たに設置する設備が B A T 2 となっているか、②国等の計画との整合性がとれているか、という 2 つの観点の評価の軸とし、①及び②の扱いについて、今後検討するとしたとの中間報告。3. (7 頁) は火力発電所の新增設でも、CO2 排出が純増することを踏まえ、同様に適用している。
甲 B 1 3	欧米における粒子状物質に関する動向について 2013 年 環境省	米国は、PM2. 5 の環境基準を 1 9 9 7 年に導入し、2 0 0 6 年の環境基準改定によって、2 4 時間平均が 3 5 µg/m3、年平均が 1 5 µg/m3 に設定されたこと。 WTO は、2 0 0 6 年 1 0 月、PM2. 5 に係る大気質指針を公表し、2 4 時間平均が 2 5 µg/m3、年平均が 1 0 µg/m3 に設定されたこと。
甲 B 1 4	PM2. 5 に関する先行的な環境アセスメントのための手法と課題 2012 年 3 月 環境省	米国では、PM2. 5 についても、国家環境政策法に基づく環境影響評価制度の中で環境影響評価が行われていること。
甲 C 4 1	変化する気候下での海洋・雪氷圏に関する I P C C 特別報告書 2019 年 9 月 24 日 I P C C	I P C C が 2 0 1 9 年 9 月に公表した海洋・雪氷圏に関する特別報告書について、環境省による政策決定者向け要約 (S P M) について、環境省による仮訳 (速報版)。世界全体の海洋はほぼ確実に昇温しており、極地の氷床の消失、氷河の消失、海洋の熱膨張により世界平均海面水位が上昇し、1 0 0 年に一度の極端現象が 2 0 5 0 年までに 1 年に 1 度ほど頻繁に起こるようになることなどが指摘されている。
甲 C 4 2	I P C C 特別報告書「気候変動と土地」 2019 年 8 月 山ノ下麻木乃	気候変動と人間の土地利用の関係について、2 0 1 9 年 8 月の I P C C 特別報告書「気候変動と土地」の政策決定者向け要約を、I G E S の山ノ下氏が和訳・紹介したもの。温暖化は砂漠化、山林火災などによる土地の劣化、食糧安全保障に影響し、気温上昇を 1. 5℃ に抑えたとしても、食料供給が不安定になり、世界の食糧システムに問題が生じるおそれがあることなどが指摘されている。

甲C 43 の1	Emissions Gap Report 2019(抄) 2019年11月 UNEP(国連環 境計画)	国連環境計画による各国の温室効果ガス排出削減計画と現状についての2019年11月に発行された統合レポート2019年版。 ・現時点での各国の削減約束に掲げる目標が達成されたとしても、3.2℃に至る可能性(66%の確率)があり、気温上昇を1.5度に抑制するために29-35Gt削減量が不足していること。2030年目標とのギャップを埋めるためにはNDCの引き上げが必要であり、日本について、CCSなしの石炭火力発電所の新設を中止し、既存火力発電所のフェーズアウトのスケジュールを立、電力供給での脱炭素化を含む戦略的エネルギー計画を立てることなどが指摘されている。
甲C 43 の2	訳文 2020年2月 浅岡美恵	甲43の関係部分の抄訳。
甲C 44 の1	判決 2020年12月20 日 オランダ最高裁	オランダのNGOが政府に2020年までに90年比25~40%削減を命じるよう求めた訴訟で、請求を認容したハーグ地裁判決を支持したハーグ高裁判決に対する国の上告を棄却し、控訴審判決を確定させた判決。危険な気候変動の人の生命や幸福に対する危険は既に現実であり、切迫した危険であって、人権侵害であること、国は国民を保護するため適切で効果的な措置をとるべきとし、2020年までに少なくとも25%削減を命じた。
甲C 44 の2	判決仮訳 2020年2月9日 浅岡美恵、一原雅 子	甲44の1号証判決本文(要旨を含む)の仮和訳文。

以上